

2022年度 給付奨学生の募集要項 <公益財団法人 浦上奨学会>

公益財団法人浦上奨学会(以下「当会」という)の2022年度給付奨学生の募集要項は下記のとおり。

1. 奨学金概要

給付月額：4万円（年額48万円）

給付期間：最短修業年限

支給方法：4月と10月に半年分を一括で支給

但し、初回は4月～9月分を採用決定後に支給

2. 応募資格

以下の各項目にいずれも該当する人

① 広島県出身者で2022年4月に指定大学院の次の課程に入学する人

- ・修士課程
- ・博士課程（前期）または（後期）

② 経済的支援を必要とする人

（日本学生支援機構が実施する第一種奨学金（大学生）の下記家計基準を適用）

世帯人数	給与所得者（上限値）	給与所得者以外（上限値）
2人	830万円	422万円
3人	743万円	346万円
4人	808万円	400万円
5人	1,094万円	686万円

（2人世帯は「母子・父子世帯」控除が可能のため、上限値を3人・4人世帯より高く設定）

（給与所得者は所得証明書の収入金額（控除前）、給与所得者以外は所得証明書の所得金額）

③ 学業、人物とも優秀で心身ともに健康である人

※ 他の奨学金との併給は下記のとおり

- ・貸与奨学金：併給可
- ・給付奨学金：併給不可（ただし、当会以外の海外留学奨学金は併給可）

3. 本年度の募集概要

募集期間：2022年2月1日（火）～2022年4月25日（月）

※ 大学内での募集期間は、大学の奨学金担当部署に確認してください。

募集人員：10名程度（各大学1名まで）

4. 応募方法

(1) 下記応募書類を大学の奨学金担当部署経由で、送信先へメールにて提出してください。

(2) 全ての書類を1ファイルにまとめてPDFにしてください。

(3) ファイル名は「給付奨学生応募書類（大学名・氏名）」としてください。

(4) ファイルは大学の方法で暗号化し送信してください。復号方法は別途連絡してください。

【応募書類】

① 給付奨学生願書（応募者の署名は自筆、顔写真は貼付け）

② 給付奨学生推薦書（在学大学の学長（学部長）印は押印）

③ 在学大学の成績証明書

④ 本人および保護者の所得証明書（源泉徴収票ではない）

⑤ 大学院の在学証明書

※ ①②は当会ホームページよりダウンロードし、必要事項を入力してください。

5. 書類の送信先および問い合わせ先

送信先： urakamishougakukai@ryobi-group.co.jp

公益財団法人 浦上奨学会 事務局宛

お問い合わせ先：当会ホームページの「お問い合わせフォーム」よりお願いします。

6. 選考・採用

- (1) 書類選考および面接（オンラインを含む）のうえ、理事会で決定する。
- (2) 選考結果は、2022年7月下旬までに大学の奨学金担当部署を通じて通知する。

7. 奨学生の義務

奨学生は次に定める義務を履行する必要があります。

- (1) 進級時、進級証明書および近況レポートを提出すること
- (2) 卒業時、卒業証明書、卒業報告書を提出すること
- (3) 下記の場合、当会へ届け出ること
 - ① 休学するとき
 - ② 復学するとき
 - ③ 大学より停学処分を受けたとき
 - ④ 退学するとき
 - ⑤ 最短修業年限で卒業できないことが確定したとき
 - ⑥ 他の大学院や研究科に編入することが決まったとき
 - ⑦ 当会に登録した情報等（氏名、住所、電話番号、メールアドレス、振込口座等）に変更があったとき

8. 奨学金の停止

以下の場合、奨学金の給付を一時停止します。

- ① 休学したとき
- ② 当会からの依頼事項に関し、重ねて提出期限を遵守できなかったとき
- ③ 上記「奨学生の義務」に記載した奨学生としての義務を怠ったとき

9. 奨学金の打ち切り

以下の場合、奨学金の給付を打ち切ります。

- ① 停学となったとき
- ② 退学したとき
- ③ 最短修業年限で卒業できる見込みがなくなったとき
- ④ 学業成績または品行が著しく不良であるとき
- ⑤ 上記「奨学生の義務」の履行を促す当会からの要請に従わなかったとき
- ⑥ 前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

10. 個人情報の取り扱い

応募の際に提出していただく個人情報は、奨学生の選考以外には一切使用しません。
提出された書類は返却しません。

※不明な点は当会へお問い合わせください。（できるだけメールでお願いします）

〒726-8628 広島県府中市目崎町 762

公益財団法人 浦上奨学会 事務局：山下晃弘

T E L (0847) 41 - 1140

メールアドレス urakamishougakukai@ryobi-group.co.jp

以 上

給付奨学生願書

(大学院進学者用)

フリガナ 氏名	年 月 日生 (満 歳)	性別	男・女			
【在籍大学】						
大学	学部	科	(年 月卒業見込み)			
【進学予定大学院】						
大学院	研究科	専攻	課程 修業年限 年			
【出身高等学校】						
高等学校		科	(年 月卒業)			
【本人】			写真 (縦 5cmX 横 4cm、上半身、 最近 3 カ月以内に撮影した もの)			
〒 _____	—					
現住所 TEL _____	携帯 TEL _____	e-mail: _____				
【保護者】						
氏名	本人との続柄					
〒 _____	—					
現住所 TEL _____	携帯 TEL _____					
【家族状況】	続柄	氏名	年齢	同別居	勤務先 又は 在学名・学年	年収金額 (税込)書類添付要
				同・別		万円/年
				同・別		万円/年
				同・別		万円/年
				同・別		万円/年
				同・別		万円/年
				同・別		万円/年
				同・別		万円/年
※本人を除く同一世帯全員 (別居の兄弟含む) を記入。 但し、別居の兄弟の年収金額は記入不要。						
【大学での奨学金】 (該当する項目に☑、○を入力)						
日本学生支援機構の奨学金		☐なし ☐あり(給付型・第一種・第二種・併用)			万円/月	
他の奨学金		☐なし ☐あり(給付型・貸与型)			万円/月	
【大学院での奨学金】 ※給付奨学金との併給不可。但し、当会以外の海外留学奨学金は併給可。						
日本学生支援機構の奨学金 (貸与型)		☐申請中 ☐申請予定 ☐申請しない			万円/月	
		☐(第一種・第二種・併用)				
他の奨学金 (貸与型)		☐なし ☐あり 団体名()			万円/月	

【応募理由】

【大学生活で特に頑張ったこと】

【大学院での研究目標】

【将来の進路設計】

公益財団法人浦上奨学会 理事長殿

以上の通り記載に相違ありません。

貴会の奨学生としてご採用の上、奨学金の給付を受けたく、お願い申し上げます。

本人

年 月 日 署名
(自筆)

当会は、奨学助成事業において、以下の目的で奨学生等の個人情報を利用します。

- ・奨学生の選考、奨学制度の運用
- ・当会の制度、応募要項等の情報のお知らせ
- ・ご請求いただいた事項等へのご回答、資料等の送付
- ・奨学生等への連絡

(大学院進学者用)

給付奨学生推薦書

フリガナ 氏名	年 月 日生 (満 歳)
【在籍大学】 大学 学部 学科 (年 月卒業見込み)	
【進学予定大学院】 大学院 研究科 専攻 課程 修業年限 年	
【研究テーマ】	
【推薦所見】	
【記入者】 部署名..... 氏名.....	
公益財団法人浦上奨学会 理事長殿	
本人は人物、学業とも優秀、心身ともに健康で、貴会の奨学生として適当の者と認め推薦いたします。	
年 月 日	大学名.....
	職名..... (学長または学部長)
	氏名..... 印
【奨学金ご担当者】	
部署名:.....	氏名.....
電話番号:	e-mail アドレス:.....

当会は、奨学助成事業において、以下の目的で奨学生等の個人情報を利用します。

- ・奨学生の選考、奨学制度の運用
- ・当会の制度、応募要項等の情報のお知らせ
- ・ご請求いただいた事項等へのご回答、資料等の送付
- ・奨学生等へのご連絡

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次																		
		_____課程					_____大学院					_____研究群 _____年次								
	学籍番号										性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)						
	フリガナ												家族住所	〒 _____ TEL (_____)						
氏 名																				
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称				給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額								
		父				年					万円	万円								
		母					年					万円	万円							
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()																		
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()																		
							年					万円	万円							
							年					万円	万円							
							年					万円	万円							
							年					万円	万円							
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別		通学別	控 除 額									
本人					筑波大学	国立			※自 宅 自 宅外	万円										
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円										
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円										
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円										
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無																	
	障害者がある世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()															
	その他																			
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定													
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()				総収入金額		① 万円											
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()				必要経費		② 万円											
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()				特別控除額		③ 万円											
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()				総所得金額		④=①-②-③ 万円											
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人										
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円										
	修得単位数または科目数								家計充足率		⑥=④÷⑤×100									

(注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。

家 庭 調 査 書

申 請 者	所属	_____学群 _____学類 _____年次															
	学籍番号	_____						性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)						
	フリガナ	_____									家族住所	〒 _____ TEL (_____)					
	氏名	_____															
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称			給与所得の収入金額(税込)	給与所得以外の所得金額						
		父				年				万円	万円						
		母					年				万円	万円					
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()															
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()															
							年				万円	万円					
							年				万円	万円					
							年				万円	万円					
							年				万円	万円					
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別		通学別	控除額						
本人					筑波大学	国立			※自宅 自宅外	万円							
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)		※自宅 自宅外	万円							
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)		※自宅 自宅外	万円							
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)		※自宅 自宅外	万円							
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無														
	障害者がある世帯		※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()							万円						
	その他																
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)								認 定						
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()								総収入金額	① 万円					
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()								必要経費	② 万円					
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()								特別控除額	③ 万円					
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()								総所得金額	④=①-②-③ 万円					
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人						
		大学(院)	A	-	B	C	-			⑤	万円						
	修得単位数または科目数									家計充足率	⑥=④÷⑤×100						

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。